

Access

旧赤星鉄馬邸

武蔵野市吉祥寺本町 4-26-21



武蔵野市 旧赤星邸 社会実験

これまでの取り組みは
こちらから



公式Instagram
開設しました！



@KYUAKABOSHITEI

開催決定！

旧赤星鉄馬邸の庭園活用社会実験#2

次回
予告

02.04

2024

10:00-16:00

(SUN)

入場自由、小雨実施

※荒天時は、2月10日(土)に延期いたします。

※延期の場合は、武蔵野市HP、公式Instagramよりご案内いたします。

発行 武蔵野市 総合政策部 資産活用課 (東京都武蔵野市緑町2-2-28 本庁舎6階南棟)
E-mail: sec-shisankatsuyou@city.musashino.lg.jp TEL:0422-60-1973

magazine vol.1



niwa*Project

発行：2024年1月



活動レポート

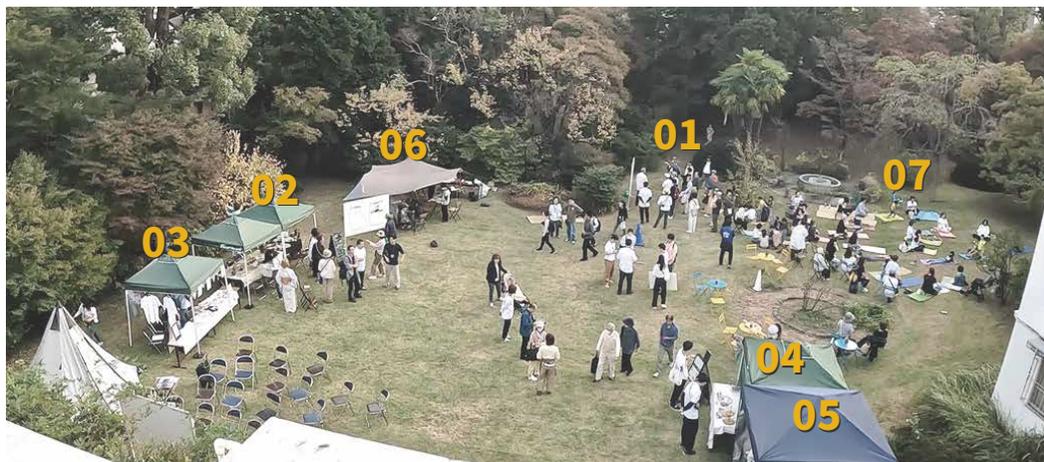
旧赤星鉄馬邸の庭園活用 #1 当日の様子
社会実験当日の調査について

niwa*Project (ニワボシプロジェクト) について
旧赤星鉄馬邸について

On the day

“旧赤星鉄馬邸の庭園活用社会実験 #1

2023.11.5(sun) 10:00-19:00



▲当日の様子

01 歴史勉強ツアー



昭和9年から残る登録有形文化財「旧赤星鉄馬邸」の謎を解き明かす、パネル展示を行いました。制作チームが発表しながら庭園を巡るツアーも実施し、多くの注目を集めました。

02 テーブル茶道ワークショップ

明治～昭和初期、財界、政界の富裕な人びとが茶の湯に興味をもった時代に生きた赤星鉄馬。歴史を感じながら庭園で茶道を行う「テーブル茶道の体験ワークショップ」を行いました。



03 雑貨販売

吉祥寺にちなんだTシャツやトートバッグなどを制作・販売する、アトリエショップ「P&M」さんが出店。オリジナルロゴTシャツ/トートバッグを制作・販売しました。



04 スイーツ

阿佐ヶ谷や中野を拠点に活動するパティシエ、ラトリエドゥタカコさんが出店しました。素材にこだわった焼き菓子は、大好評でした。

05 コーヒー

自家焙煎コーヒー屋 DREAMERS COFFEEさんが、ドリップコーヒーを販売しました。庭に設置したテラス席には、多くの方が外での飲食を楽しみました。



06 harvest wreatheの子どもワークショップ

市民ワークショップで提案のあった、子ども向けの企画。庭に育つ多様な樹木を活かしたリース作りのワークショップは多くの子どもたちが参加しました。

07 親子ヨガ

特別講師のレクチャーによって、ヨガを実施しました。午後のゆったりした時間の中、世代を問わず、庭の豊かな自然を感じながら楽しみました。

08 ナイトシアター

夜の部では、赤星邸の壁をスクリーンに見立て、野外で映画の上映会を開催しました。公開タイトルは、「人生フルーツ」。旧赤星邸を設計したレーモンドの弟子、津端修一夫妻のドキュメンタリーです。



Survey

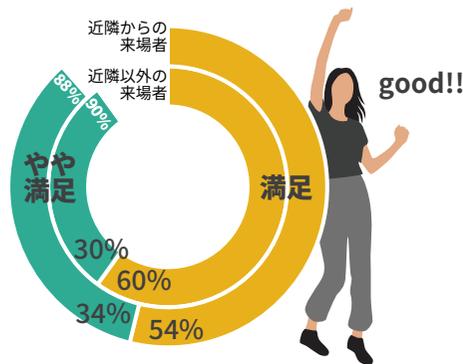
社会実験当日の調査について

社会実験開催時はアクティビティを測るための調査を行い、効果検証を行いました。ここでは、アンケート調査、滞留調査、コンテンツボードでの調査結果を載せています。(より詳細な結果は、武蔵野市 HP にて公開しています。)

■アンケート調査

9 割が社会実験に「満足した」と回答！

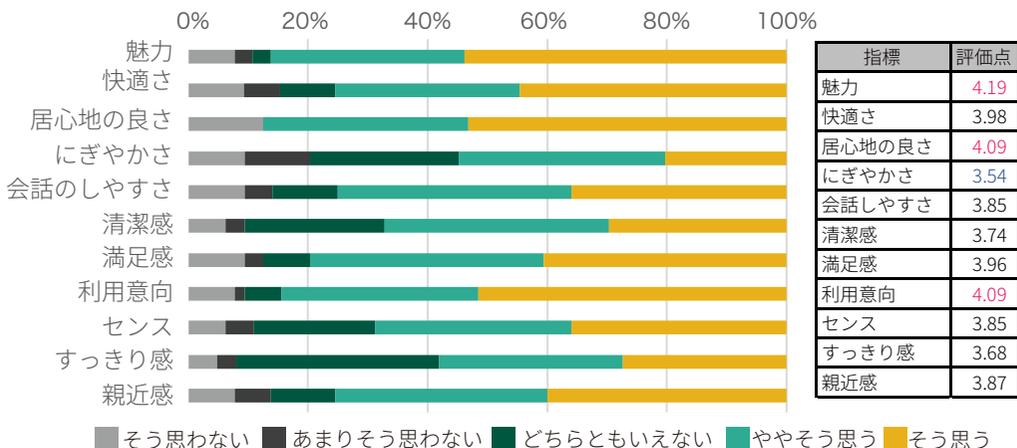
社会実験全体の満足度について、居住属性を分類し解析しました。近隣から来場した回答者の 88% が「満足」または「やや満足」と回答しました。また、近隣以外から来場した回答者の 90% が「満足」または「やや満足」と回答しました。近隣とそれ以外の回答者の満足度に大きな差異がないことがわかりました。



より詳細な結果はこちら



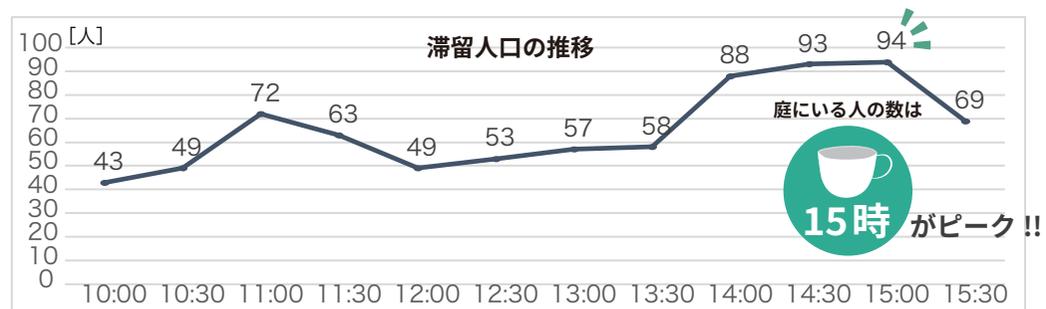
空間の 5 段階評価では、「居心地の良さ」が高評価に！



社会実験時の庭園の空間的な評価について、11 項目を 5 段階で評価しました。「魅力」「居心地の良さ」「利用意向（利用したい）」について、4.0 以上の評価点が確認できました。一方で、「にぎやかさ」が 3.54 となり「静寂さ」が評価されている旧赤星邸ならではの結果となりました。

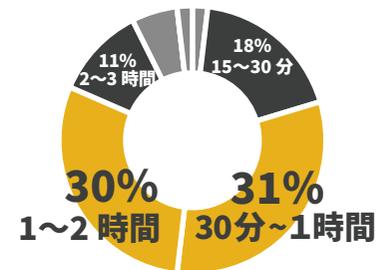
■滞留調査

Q. 庭ではどのくらい「くつろげた」のか？



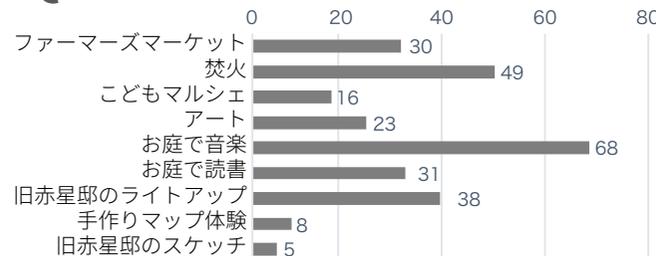
滞留時間傾向

社会実験時の庭園内の滞留人口は、40~100 人の間で推移し、企画が異なる 11 時台、14 時台以降に多くの人の来場がありました。また、来場者アンケート調査によると、滞在時間は「30分~1時間」が 31%、「1~2時間」が 30%と多く、一定時間の滞在が確認できました。



■コンテンツボードの調査

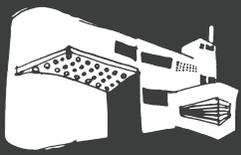
Q. 「この庭、どう使いたい？」



▲コンテンツボードによる調査の様子

会場内で「この庭、どう使いたい？」をテーマにワークショップを実施しました。市民ワークショップであげられた意見の中で、社会実験の企画としては実施しなかったコンテンツについて、来場者にヒアリングを行いました。コンテンツボードでは、「お庭で音楽」が 68 件と最も多く、次いで「焚火」が多い結果でした。また、その他自由に記述できるワークショップボードでは、子どもに関する活動・遊戯・運動に着目した企画に関する声も多く上がりました。

調査結果からわかったこと 居心地のよい空間デザインが実現できた。今後は、旧赤星邸と庭の一体的な活用について、さらにチャレンジできる可能性を探っていきたい。



niwa*Project

って何？



旧赤星鉄馬邸について



▲旧赤星鉄馬邸外観

赤星鉄馬は、明治生まれの実業家で日本初の学術財団「啓明会」を立ち上げ、幅広い分野の研究者たちを支援したことで知られています。



▲旧赤星鉄馬邸 庭園

＝「未来へつなぐ旧赤星邸と庭園プロジェクト」



▲当日の集合写真

プロジェクトの実施にあたっては、令和5（2023）年7月に公募により武蔵野市在住在勤の企画・運営スタッフ25名が選出されました。スタッフにより、「niwa*Project」と名付けられ、4回の企画会議を経て、令和5年11月5日（日）に第1回社会実験を実施しました。第2回社会実験は令和6（2024）年2月4日（日）に実施予定です。

武蔵野市では、アントニン・レーモンド設計の旧赤星鉄馬邸の保存と、緑豊かな庭との一体的な利活用により、この環境を将来につないでいくことを目指しています。

そこで、市民ワークショップから出された利活用アイデアを踏まえて、社会実験を企画・実施する「未来へつなぐ旧赤星邸と庭園プロジェクト」がスタートしました。



▲企画会議の様子

建物の設計は アントニン・レーモンド



▲玄関横の大きな螺旋階段

旧赤星邸は、日本モダニズム建築の先駆者、アントニン・レーモンドの設計によって建てられた鉄筋コンクリート造で地階付き2階建ての大規模住宅です。約4,500㎡の敷地内には緑豊かな庭と共に、市が指定した32本の保存樹木があります。レーモンドは、近代建築の三大巨匠のひとり、フランク・ロイド・ライトの助手として来日し、長年日本で活用した建築家で、設計した建築は今もなお注目を集めています。

旧赤星邸は昭和9（1934）年に竣工しましたが、昭和19（1944）年には陸軍に接収され、戦後はGHQに接収されました。そして昭和31（1956）年、カトリック・ナミュール・ノートルダム修道女会の所有となり、シスターたちが丁寧に手入れをしながら、一部増改築を経て修道院として使われることとなります。その後、市が取得し、国登録有形文化財として登録され、現在に至ります。大切に建物の歴史を繋いできたことで90年経った今もこのような綺麗な状態が保たれているのです。

